

- 全世界の主要な地球観測衛星の用途等を調査し、防災に利活用可能な技術を抽出する。
- 地方公共団体や指定公共機関等の、災害対応におけるニーズを調査し、宇宙技術の利用の観点で整理する。
- 災害対応者のニーズと適応可能性の高い宇宙技術を結びつけ、実用化に向けた課題を整理する。

資料
1—3

宇宙技術 防災への利活用技術を調査

全世界の衛星の調査

現状

- ALOS-2
- GCOM-W
- GCOM-C
- GOSAT
- ひまわり 8,9
- NOAA
- Landsat 7,8

将来

防災に利活用可能な技術の抽出

- 先進光学衛星による解析
- 先進レーダー衛星による解析
- 準天頂衛星によるGPS解析
- ...

マッチング
可能性の高い
技術と課題を
調査・検討

地方公共団体、指定公共機関… ニーズを調査

- ①ヘリ画像よりも**広範囲の被災状況を一度に確認**したい
- ②航空機が飛べない**悪天候でも浸水範囲を把握**したい
- ③**夜間でもインフラ設備の異常の有無**を確認したい
- ④**停電でも安定した通信**環境を維持したい
- ⑤指定避難所でない**駐車場に避難している車の台数を把握**したい
- ...

ニーズを集約

宇宙技術等の活用に係る課題調査結果

- ①広範囲の被災状況の把握技術 ⇒ 先進光学衛星データの利用
★課題：衛星データへのアクセス手法の実装
夜間はレーダ衛星データによる補完の検討が必要
→防災分野への活用には…。

②…